

平成 23 年 4 月 8 日

会員各位

社団法人 日本病院薬剤師会
災 害 対 策 本 部

被災地の現状とボランティア応募のお願い

東日本大震災とそれに続く大津波による被害、福島第一原子力発電所の炉心溶融などにより、いまだに多くの被災者が困難な状況におかれております。被災地の医療現場は最大限の対応を行っておりますが、薬剤師の数が足りず深刻な状況となっております。

本会では、3月17日（金）付けで本会のホームページで被災地の医療活動に従事する薬剤師ボランティアを募集し、4月8日13時現在までに126名の方から応募があり、派遣先と活動開始の日程調整が済んだ方から順次、被災地へ派遣しております。被災地のためにボランティアに応募していただきました皆様に御礼申し上げます。

被災地のライフライン及び公共交通機関の復旧が遅れており、特にボランティア派遣の要請がでている施設は沿岸部に集中しているため、駅及び空港からの移動を車に頼らざるをえない状況にあるので、現時点では食糧及び宿泊を自己で十分な準備ができ、自家用車またはレンタカーにより自力で移動を行うことができる方を被災地に行っていただいております。

また、現地でボランティア活動を行う際には、活動を行う現場に移動する時間を要することや具体的な活動の打ち合わせをする必要があります、手配をお願いしている現地の薬剤部長などの大きな負担になりますので、移動日を含め1週間程度の活動ができる方を優先的にお願いしております。

薬剤師ボランティアによる医療活動支援を長期間必要とされる事が予想され、早ければ4月中に東北新幹線の復旧が見込まれていることから、派遣先の状況も変わってきて、公共交通機関を使つての現地入りも可能になると思われれます。

最後に、ボランティアを完了された薬剤師、被災地及びその周辺の医療機関に従事する薬剤師は、現地の情報を都道府県病院薬剤師会及び本会にお寄せ下さいますようお願いいたします。